

池淵遺跡Ⅱ地点 出土資料展示会



亀の甲羅



柱の基礎

平成 23 年 10 月 23 日 (日) 9:30~11:30
池淵遺跡Ⅱ 地点発掘調査現場横、プレハブ内
九州歴史資料館

はじめに

福岡県教育委員会及び九州歴史資料館では、平成 21 年度から国道 385 号三橋大川バイパス道路改良事業に伴い、池淵遺跡の発掘調査を実施してまいりました。

本年度は、池淵遺跡Ⅱ地点の発掘調査を実施し、数多くの土器や木製品などが出土しました。遺跡自体は安全対策によりすでに埋め戻しを行ったためご覧いただくことはできませんが、蒲池の地下に埋もれていた貴重な資料をご覧いただくことにより、この地域の歴史の素晴らしさをご理解いただければ幸いです。

池淵遺跡Ⅱ地点で発掘された遺構

池淵遺跡Ⅱ地点では、これまで調査したⅠ地点とほぼ同じ内容の遺構が発見されました、

- ・ 深い穴（土坑） 約 50 基
- ・ 掘立柱建物 3 棟、掘立柱建物の柱穴 45 基
- ・ 炭や木の皮が入った隅丸長方形の浅い土坑約 10 基
- ・ 鎌倉時代及び戦国時代の溝 2 条
- ・ その他大小の土坑 100 基以上

遺跡の時代

今回池淵遺跡Ⅱ地点で発見された遺構の時代は、弥生時代中期、後期、終末～古墳時代初頭、古墳時代後期、平安時代、鎌倉時代、戦国時代と多岐にわたりますが、そのほとんどは弥生時代終末～古墳時代初頭（紀元 3 世紀、約 1700 年前）のもので、中国の「魏志倭人伝」に描かれている時代、日本各地にさまざまなクニがあり、卑弥呼が活躍した時代がこの頃です。また、遺構は少なかったものの、蒲池氏が活躍した時代にこの周辺を囲っていたと思われる溝が今回も見つかっています。

池淵遺跡Ⅱ地点の特徴

池淵遺跡Ⅱ地点の特徴は、弥生時代終末～古墳時代初頭の、井戸のような深い土坑が数多く発見されたことです。

土坑は深さが 1.5m 以上あるものが多く、形は井戸のように見えますが、水の沸いた痕跡が認められないため、井戸と断言はできません。またこの深い土坑のうち約半数からは、**完全な形をしたものを含め多くの土器や木製品、貝殻**などが出土しました。

土坑から出土した土器は割れているものも多数ありましたが、完全な形をしたものが多く、割れているものも復原すれば完全形になるものが数多くあります。通常の発掘調査では、完全な形をした土器はなかなか出土しません。これらの土器は、同じような種類のものがそれぞれの土坑に入っていること、また故意に穴をあけた土器が多数あることから、土坑を埋めるときに何らかの祭祀（お祭り）をしたものと考えています。

また、同時に数種類の土器が埋められていることから、その時代にどのような種類の土器がセットで使われていたかがよくわかるため、今後の周辺の発掘調査において土器の年代を決定するための、大変貴重な資料となります。

もうひとつの特徴としては、竪穴住居跡がないことです。

通常の遺跡でもっとも多く発見されるのは、当時の人々が住んだ住居跡であり、弥生時代～古墳時代では竪穴式住居が主流です。しかし、池淵遺跡では竪穴式住居はこれまで1棟も見つかっておらず、高床式の建物である掘立柱建物が数多く見つかっています。この周辺の人々は竪穴式住居ではなく、高床式の住居に住んでいたことも考えられます。

このような特徴をもつ遺跡は、柳川市はもちろん、大川市や佐賀市で発見されていますので、有明海沿岸地域に特徴的な集落の可能性が考えられます。

出土した遺物

今回の調査では、土器をはじめ、多数の出土品が発見されました。

★ 土器

甕・壺（広口壺・直口壺・長頸壺など）・小型壺・小型甕・高坏・坏・鉢・椀・はそう・平瓶・黒漆を塗った壺・近畿系の土器 ほか

★ 動物の骨や植物

ト骨8誌かの肩甲骨で占いをしたもの）・亀の甲羅・イノシシの顎・鹿の肩甲骨・ねずみの頭蓋骨と下顎・植物の実（瓜？）や種（桃？）・貝殻 ほか

★ 石製品

石庖丁・石剣・石斧・砥石・紡錘車（糸紡ぎ車）・黒曜石（石器の材料） ほか

★ 木製品

刀型・木臼・建築部材・柱の基礎（横木）・木製鋌？・杵・鍬の未製品・取手 ほか

★ 土製品

土製勾玉・投弾 ほか

出土した資料は、今後九州歴史資料館に持ち帰り、水洗して整理・復元・実測等を行います。水洗すればさらに多くの種類の出土品が明らかになると思われます

発掘調査で発見、判明した遺構や出土品については、今後詳細に分析して内容や性格を検討します。またこれまで各地で行われてきた発掘調査の結果とも比較検討し、「発掘調査報告書」という形で本にまとめます。このような検討の積み重ねにより、地域の歴史や文化が少しずつ明らかになります。今回の池淵遺跡の調査結果は、蒲池地域の歴史はもちろん、柳川市や筑後地域の歴史を紐解くにあたり、大きな成果になると思われます。

おわりに

池淵遺跡をはじめ、これまで国道385号道路改良事業関連で行ってきた発掘調査は、今回をもって終了いたします。長期間にわたり地域の皆様には大変深いご理解とご協力をいただき、貴重な成果を得ることができました。ここに深く感謝いたします。

これらの成果は、今後蒲池をはじめとするこの地域の歴史や文化を解明するための貴重な資料として、今後活用させていただきます。誠にありがとうございました。



土坑内の土器 出土状況



掘立柱建物



杵 出土状況



木臼 出土状況



イノシシの下顎 出土状況